

薬局・薬剤師の機能発揮と評価の現状

－社会医療診療行為別統計2022年6月実績より－

医療制度検討委員会
2023年7月

Summary

社会医療診療行為別統計とは、

医療保険制度における医療の給付の受給者に係る診療行為の内容、調剤行為の内容、薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的として、**毎年、前年の6月審査分の状況が公表される。**

統計表では診療行為（医科・歯科）・調剤行為の状況、薬剤の使用状況の結果が回数・点数別等で提供される。

URL : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450048&tstat=000001029602>

調査結果 Summary

調剤基本料別に各種技術料の算定率を比較すると、基本料3の薬局において算定率が高い傾向が見られた。中でもかかりつけ薬剤師指導料や、医療機関及び患者への情報提供、服薬支援において差がより顕著であった。

一方で、調剤基本料1の薬局とそれ以外とでは、受付1回につき39.3点の開きがあり、これは基本料の点数差（平均22.4点の差）に加えて、基本料1以外においては要件ハードルが高く、点数が低い地域支援体制の加算3、4が適用されることによる同加算の点数差（平均18.5点の差）によるところが大きい。*

このように社会医療診療行為別統計より把握できる各種技術料の算定状況からも、薬局が実際に果たしている機能を評価という観点において不合理な現状が伺えた。

* 22/6月は3－八において経過措置期間中でありその影響が大きいため3－八は除く。



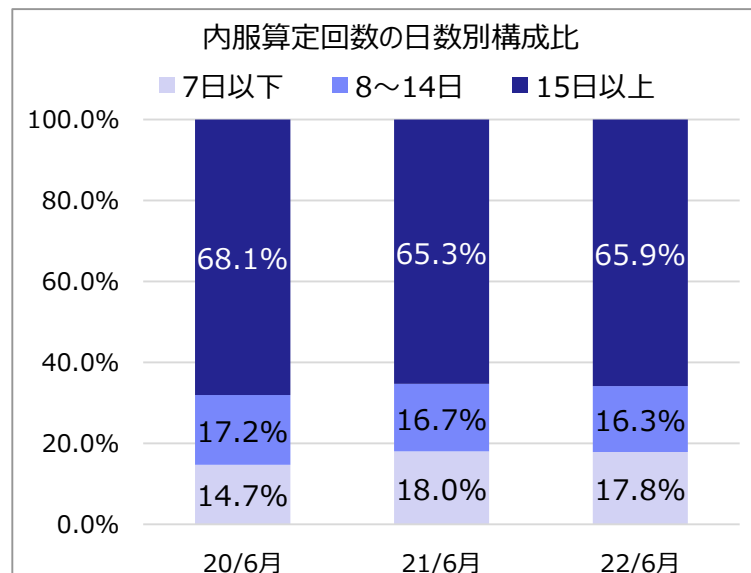
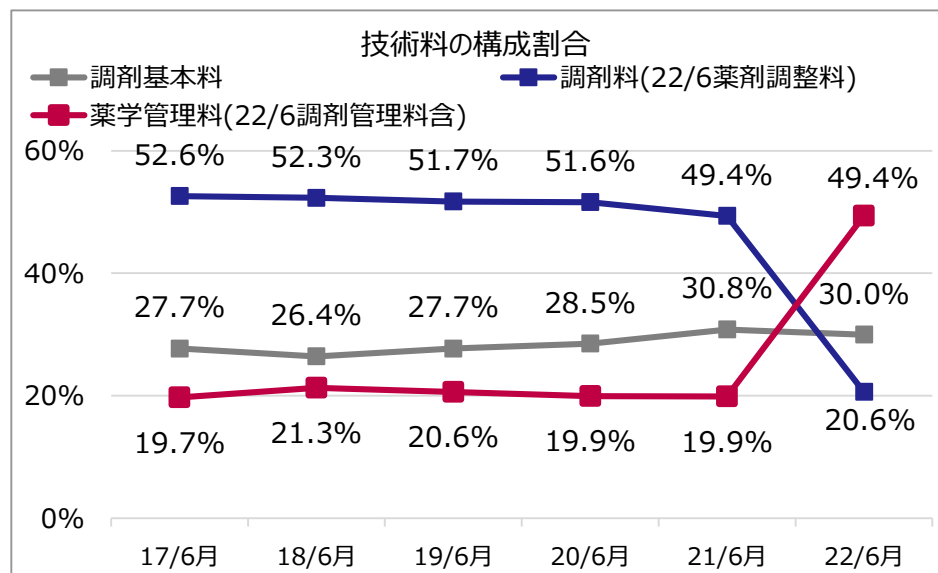
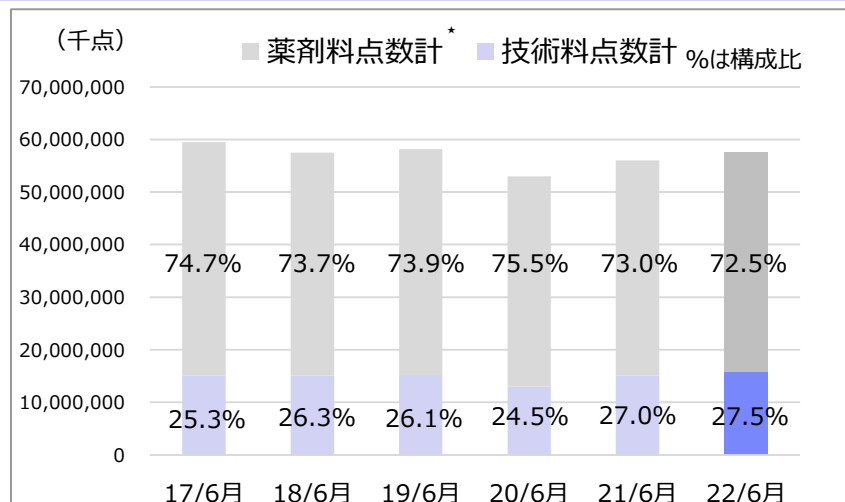
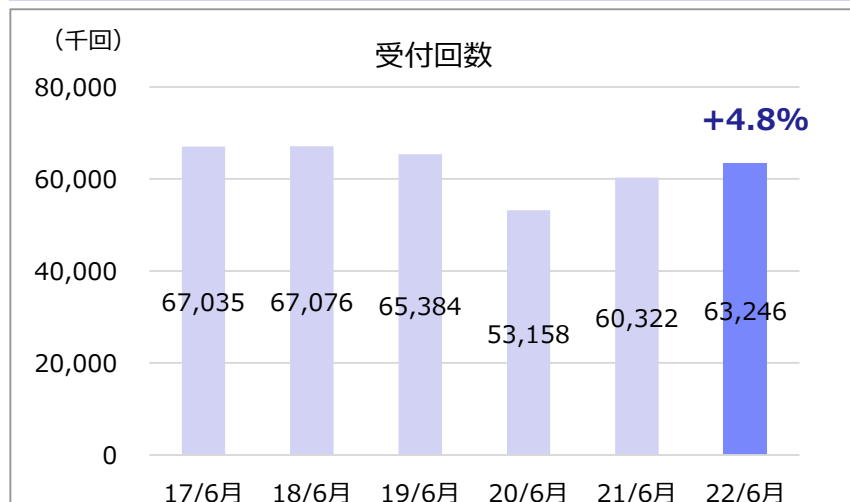
1. 調剤全体の状況

2. 薬学管理料・加算の算定状況

3. 調剤基本料・加算の算定状況

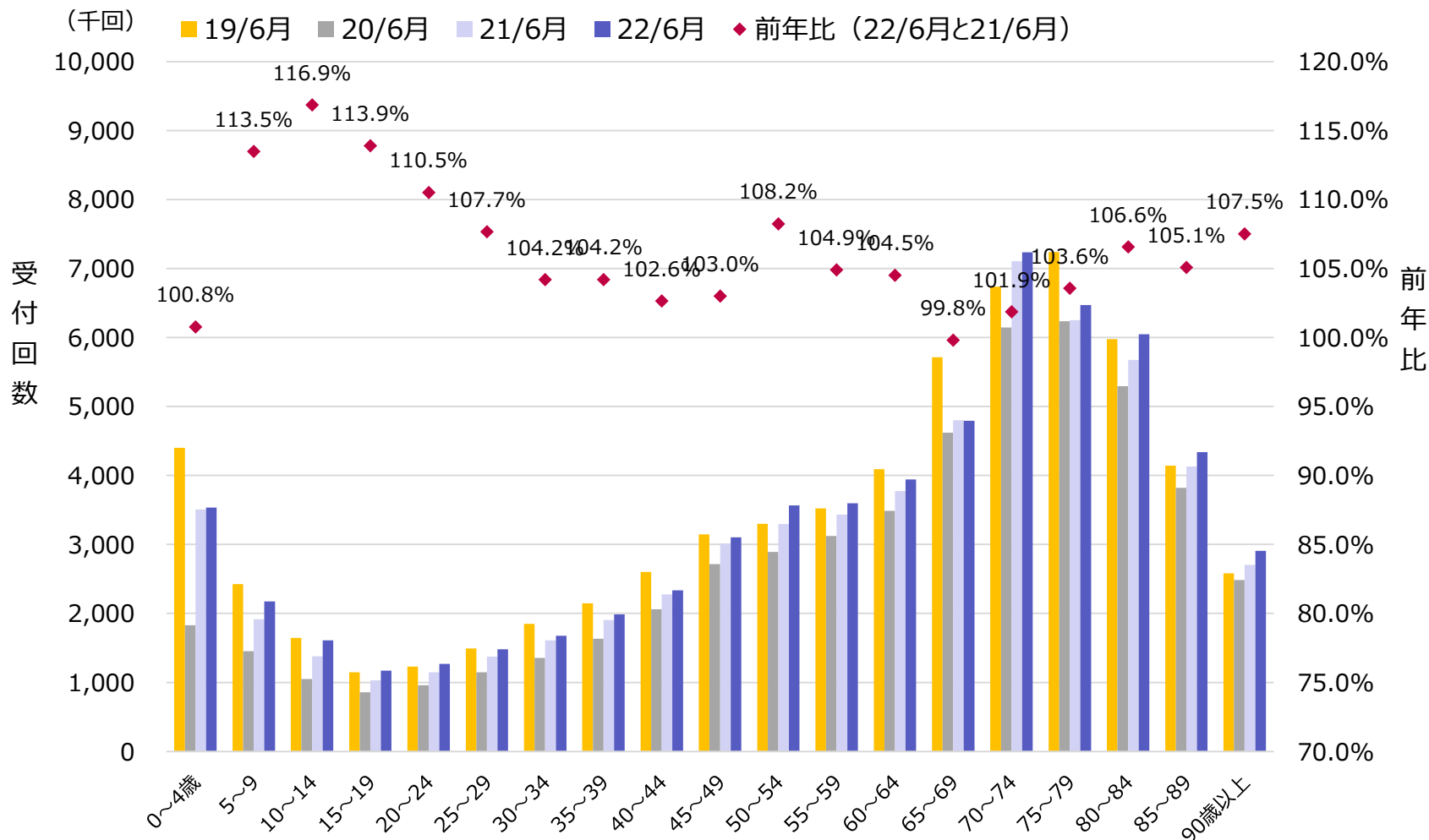
調剤全体

新型コロナウイルス感染症流行の鎮静化に伴い、受付回数・調剤報酬額が戻りつつある。2022年度改定によって、調剤料(22/6薬剤調整料)と薬学管理料(22/6調剤管理料含)の構成比が入れ替わった。



年齢別受付回数

ほぼすべての年代において、前年比で増加しており、コロナ禍以前の水準に戻っている年代も見られた。





1. 調剤全体の状況

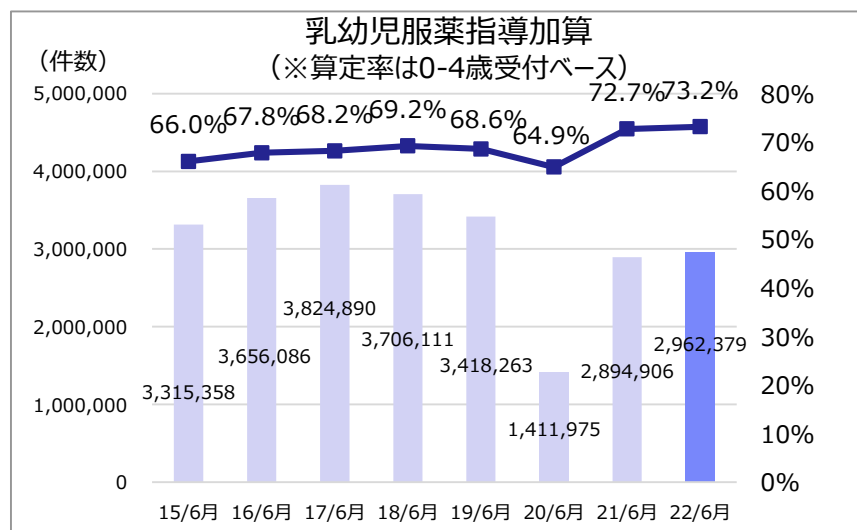
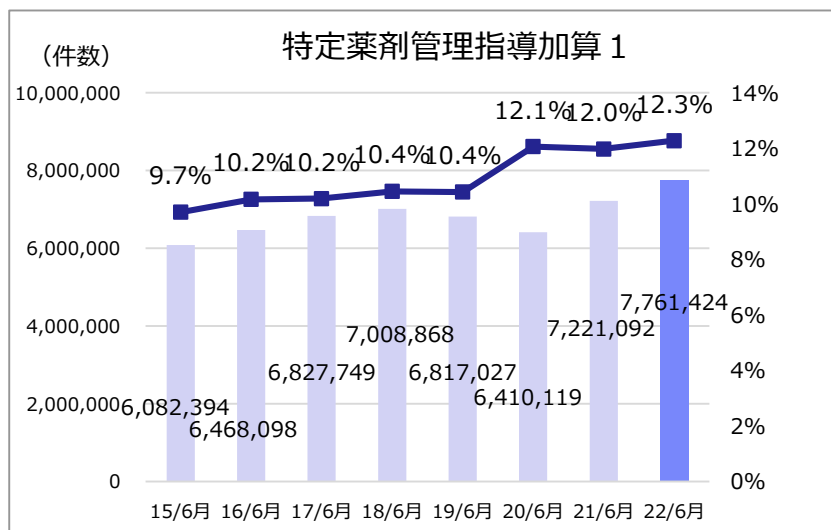
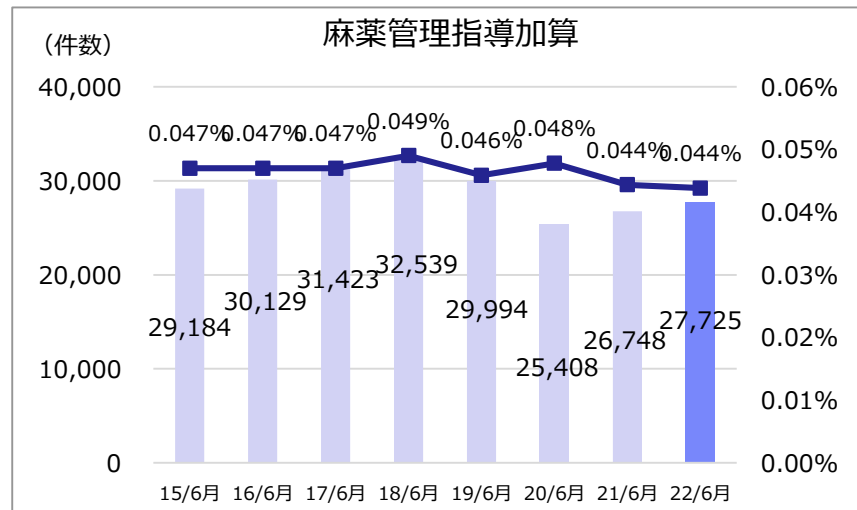
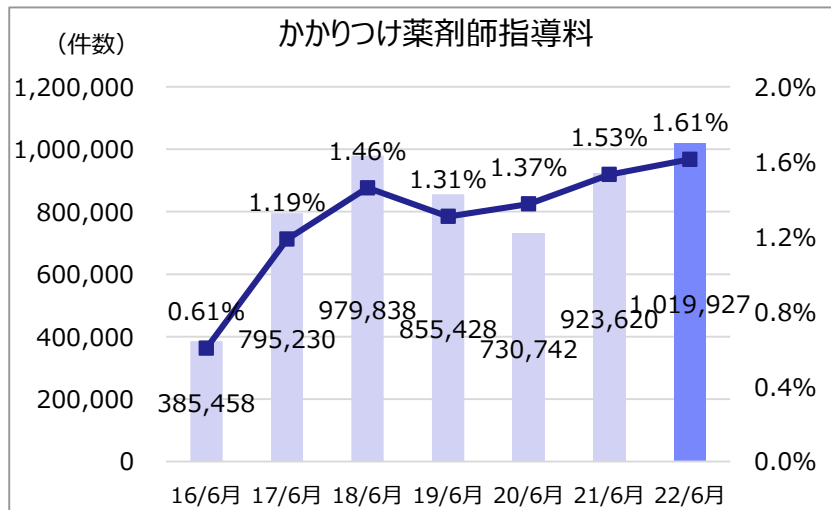
2. 薬学管理料・加算の算定状況

3. 調剤基本料・加算の算定状況

薬学管理料・加算の算定状況 1

■ 算定件数 ■ 算定率

かかりつけ薬剤師指導料、特定薬剤管理指導加算 1、乳幼児服薬指導加算の算定割合は微増している。

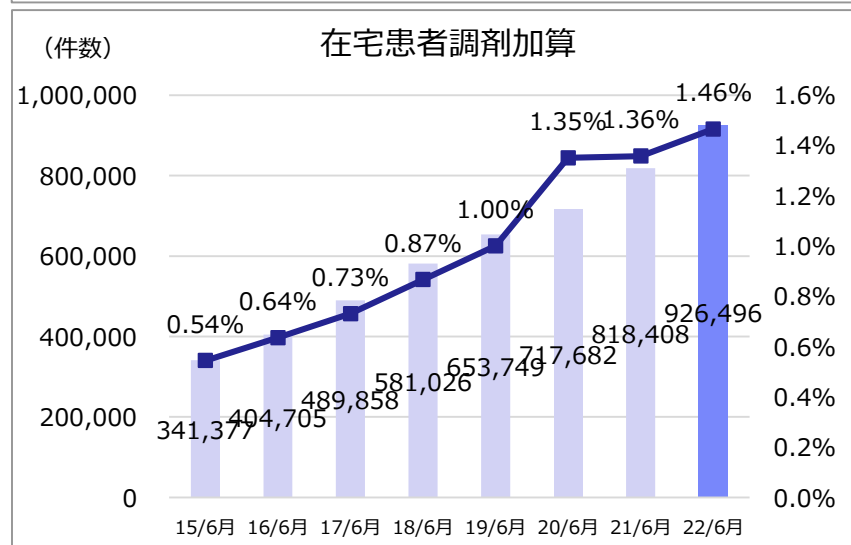
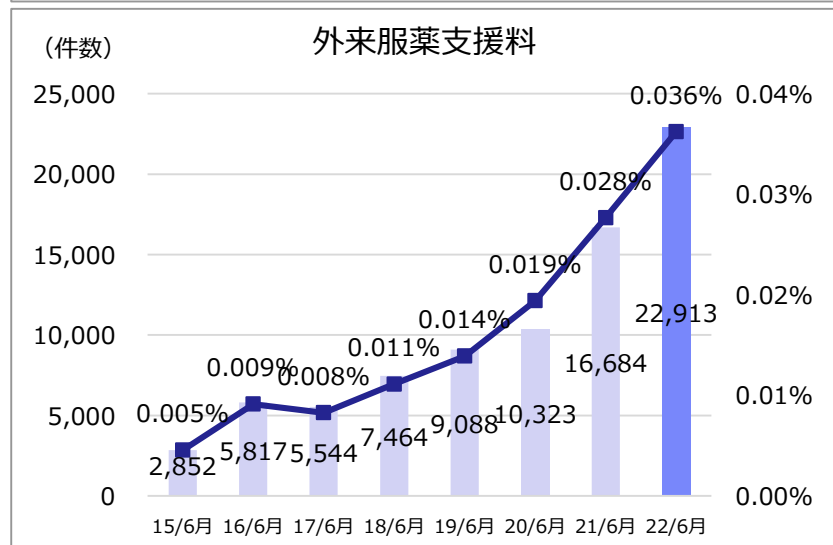
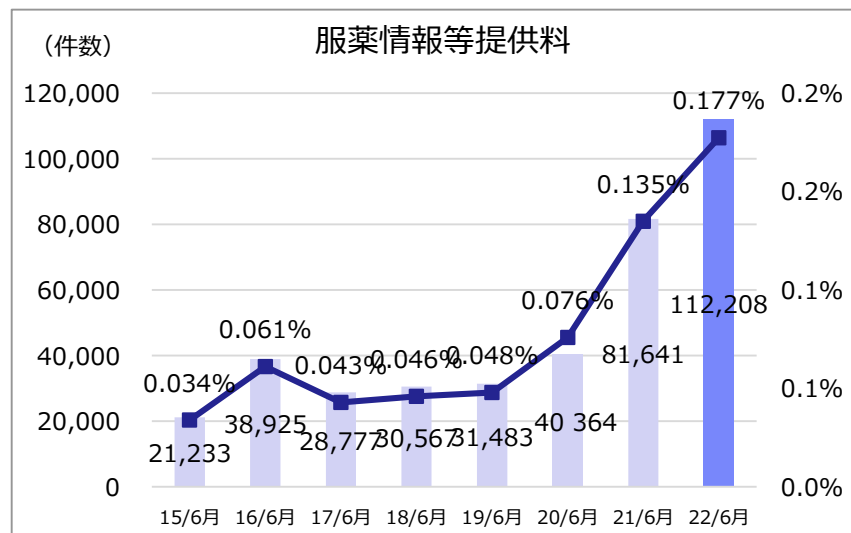
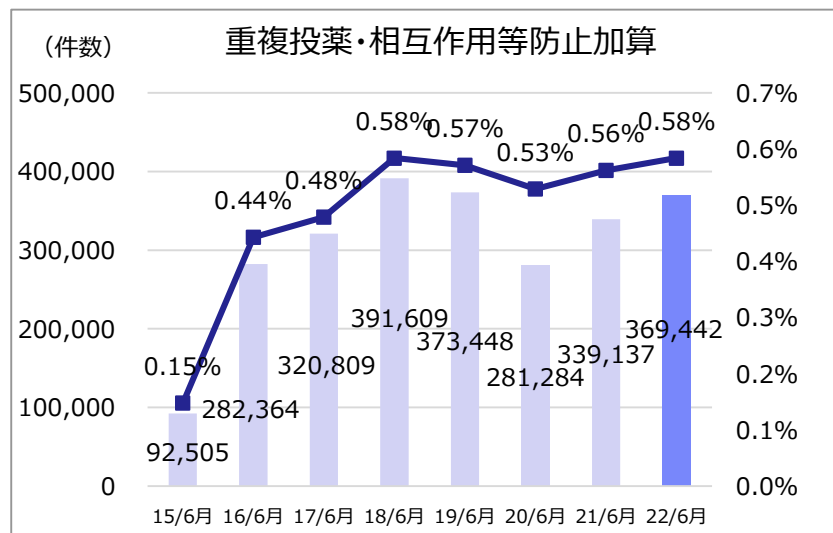


▶ 社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出
乳幼児服薬指導加算の算定率は0～4歳において、算定件数を受付回数で除して算出

薬学管理料・加算の算定状況 2

■ 算定件数 ■ 算定率

情報提供、服薬支援、在宅患者調剤加算、いずれの実績も伸びている。

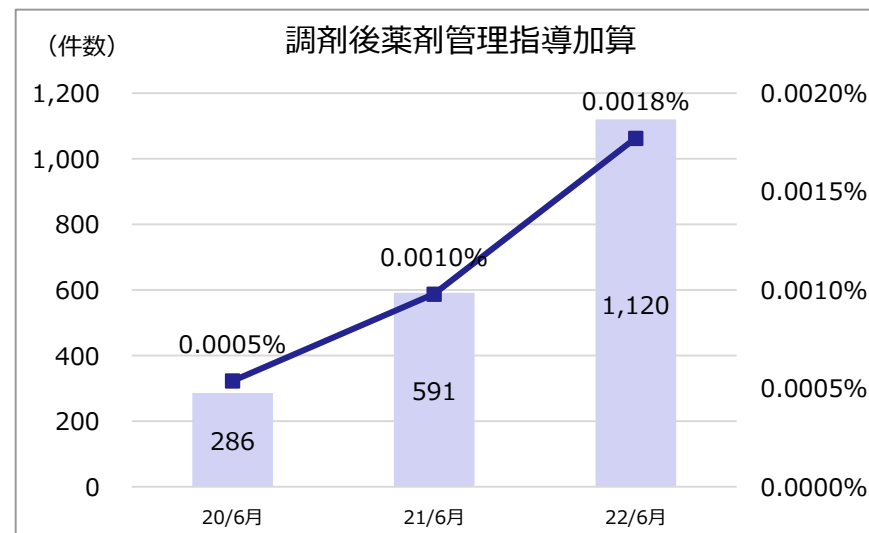
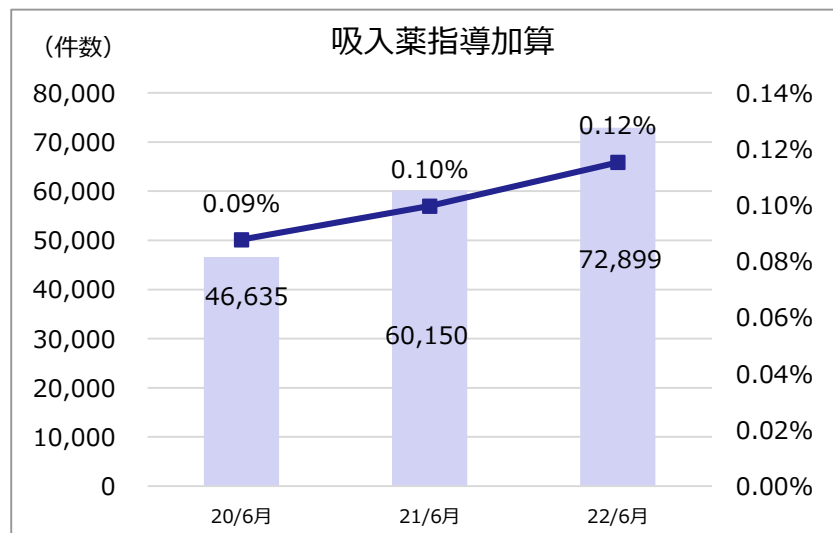


▶ 社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出 ▶ 外来服薬支援料は「1」と件数 ▶ 服薬情報等提供料：長期投薬情報提供料含む

薬学管理料・加算の算定状況 3

■ 算定件数 ■ 算定率

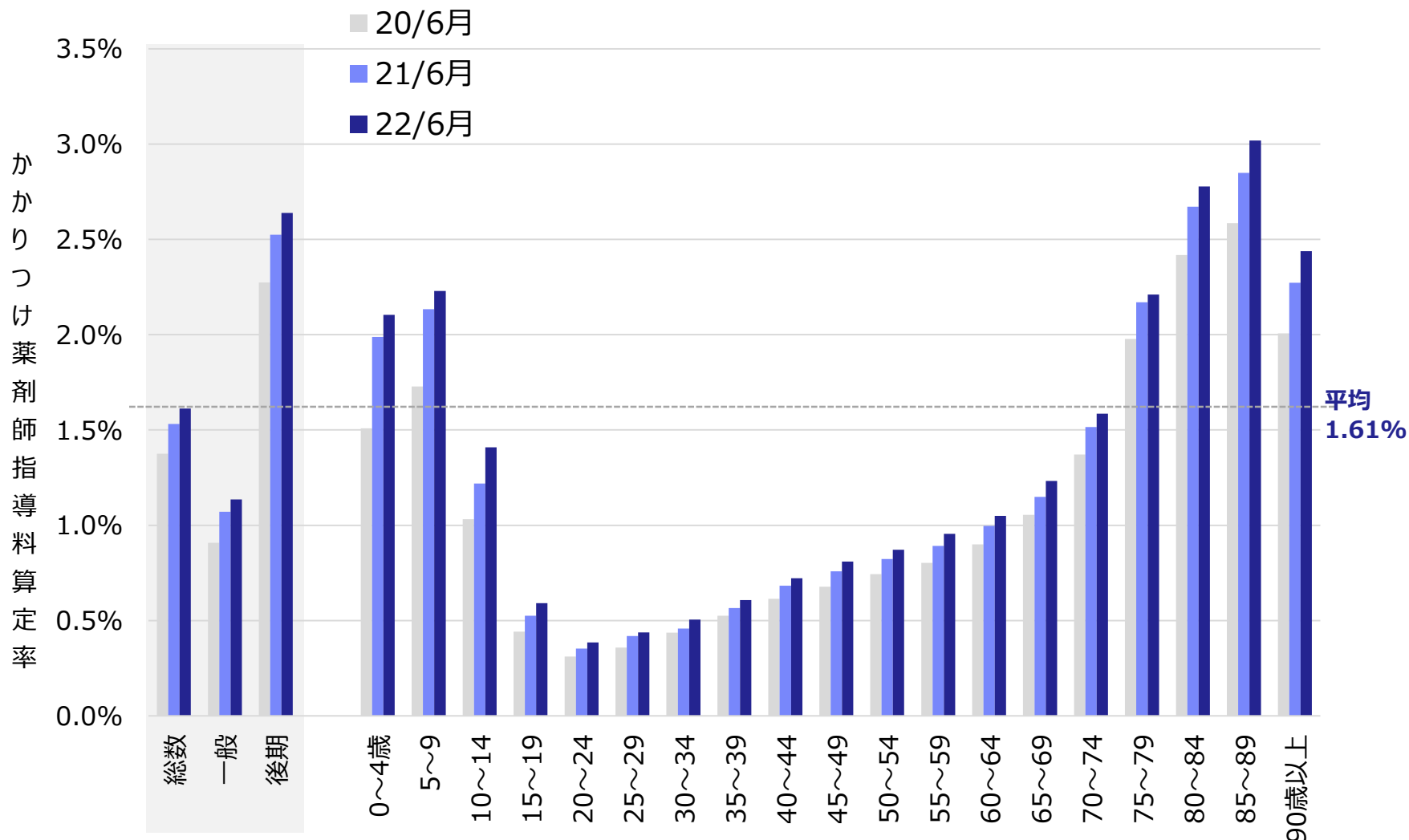
2020年に新設された吸入薬指導加算、調剤後薬剤管理指導加算、特定薬剤管理指導加算 2 について、いずれも実績が伸びている。



▶ 社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出

年齢別かかりつけ算定率

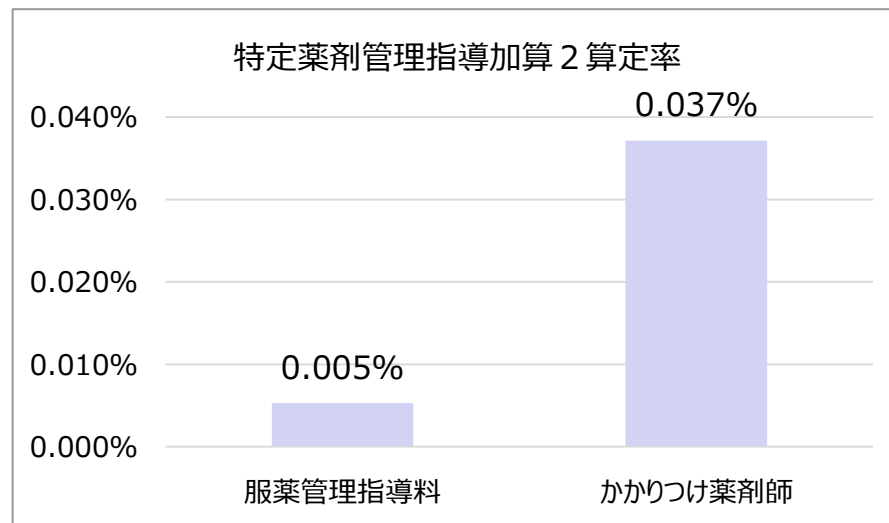
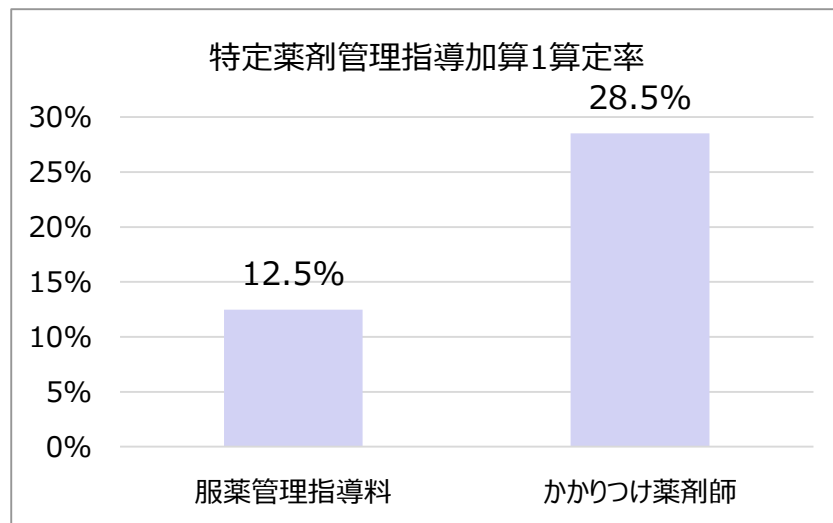
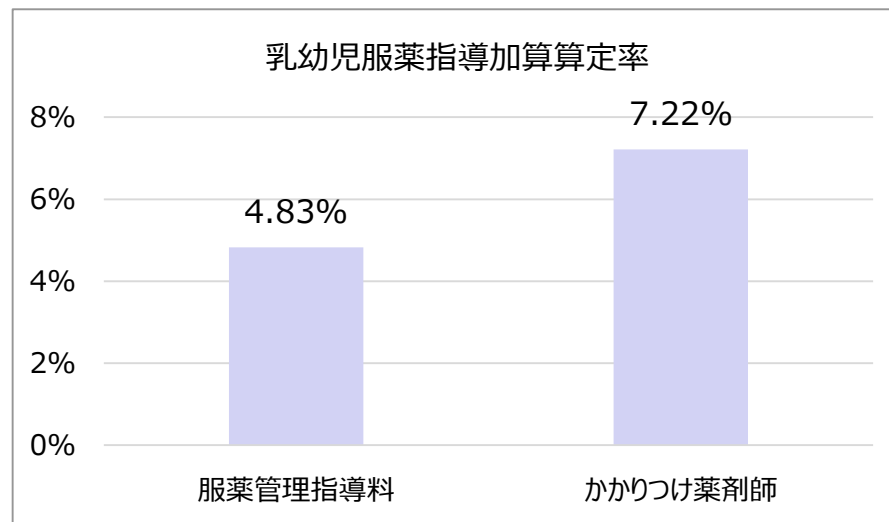
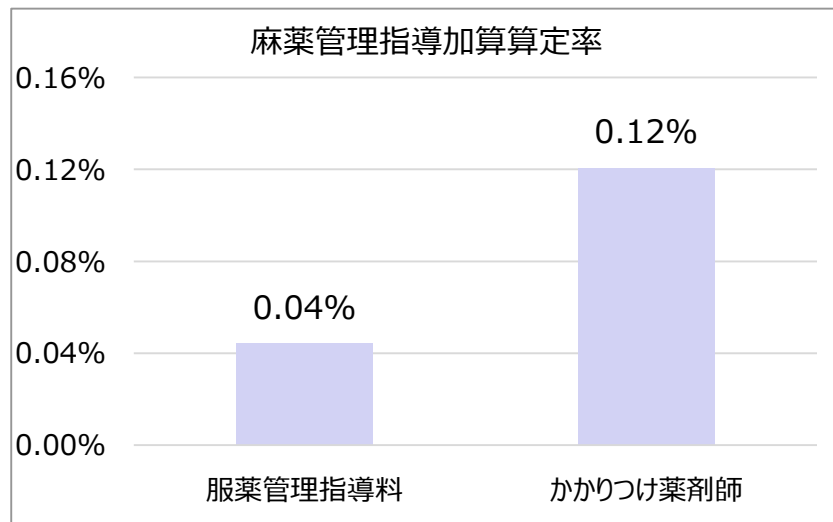
0～9歳の乳幼児・小児、75歳以上の高齢者においては、かかりつけ薬剤師指導料の算定率が平均より高い傾向が見られた。すべての年代において算定率が伸びていた。



かかりつけ機能発揮 – 2022年6月 –

■ 算定率

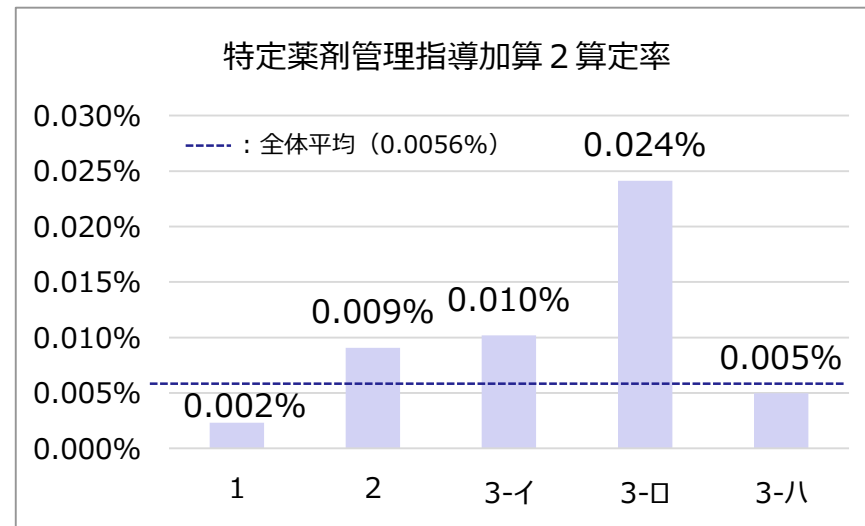
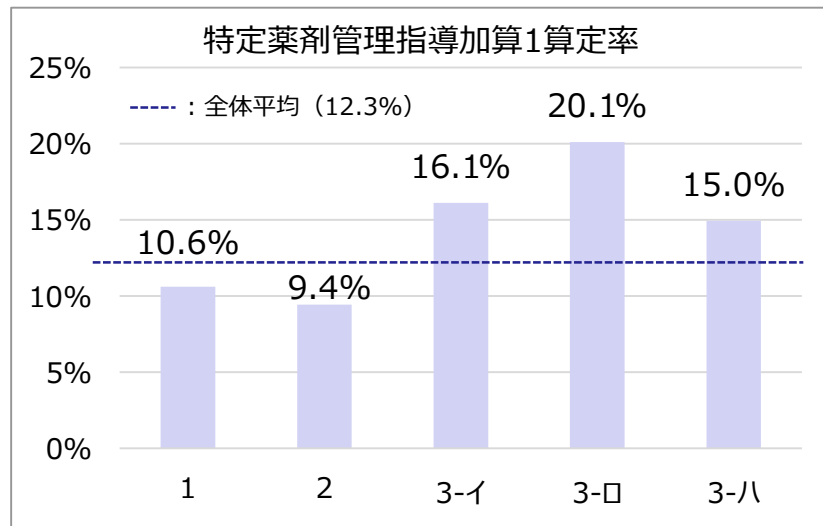
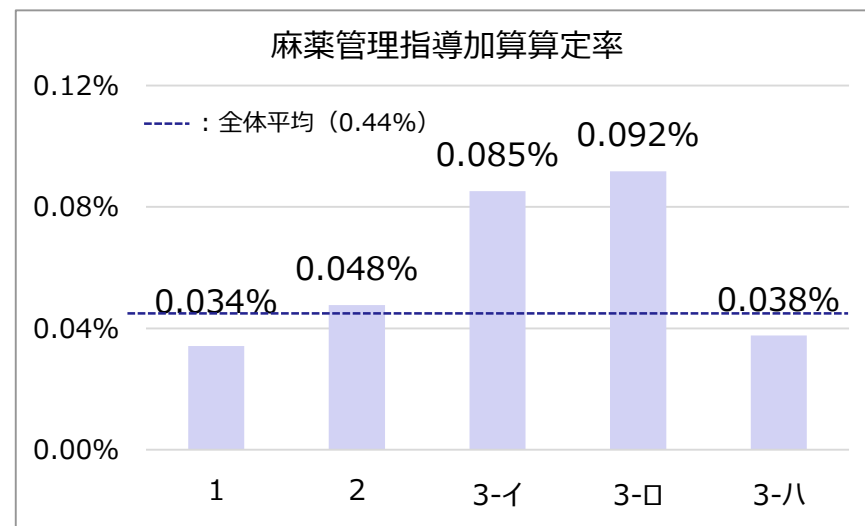
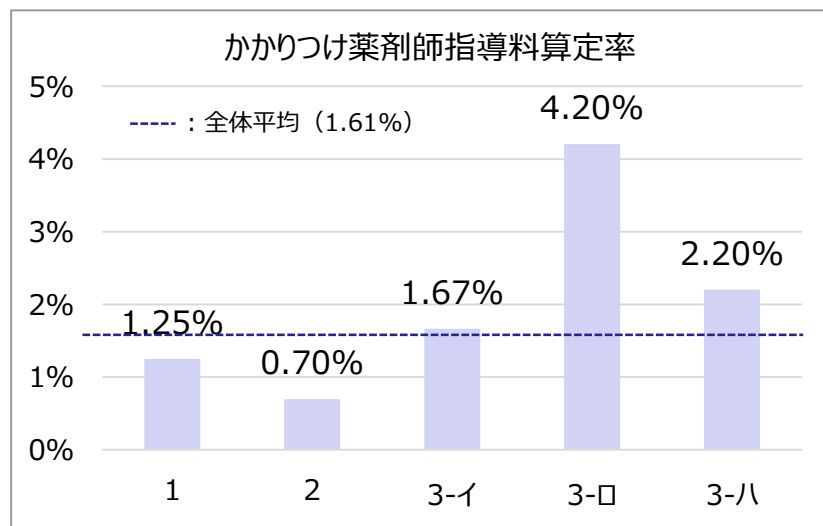
かかりつけ薬剤師指導料を算定している場合の方が、各種加算の算定率が高い傾向が見られた。



調剤基本料別 算定実績 1 – 2022年6月 –

算定率

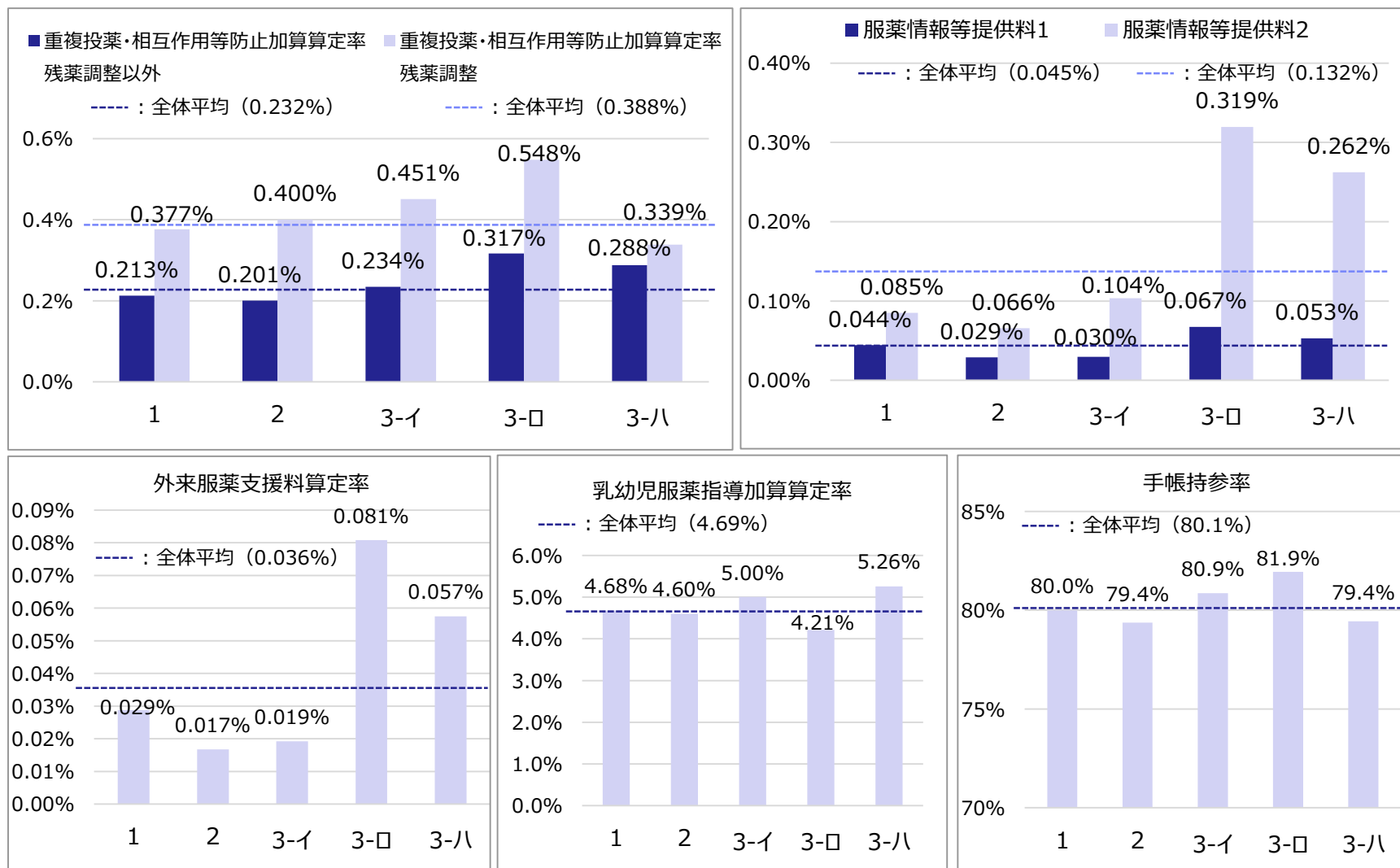
調剤基本料 3 の薬局で算定率が高い傾向が見られた。中でもかかりつけ薬剤師指導料算定率において、他と比較し 3-口の薬局の算定率が顕著に高かった。



調剤基本料別 算定実績 2 - 2022年6月 -

■ 算定率

調剤基本料 3 の薬局で算定率が高い傾向が見られた。中でも情報提供、服薬支援において他と比較し 3 - 口、3 - 八の薬局の算定率が顕著に高かった。手帳持参率に関しては調剤基本料による差は見られなかった。



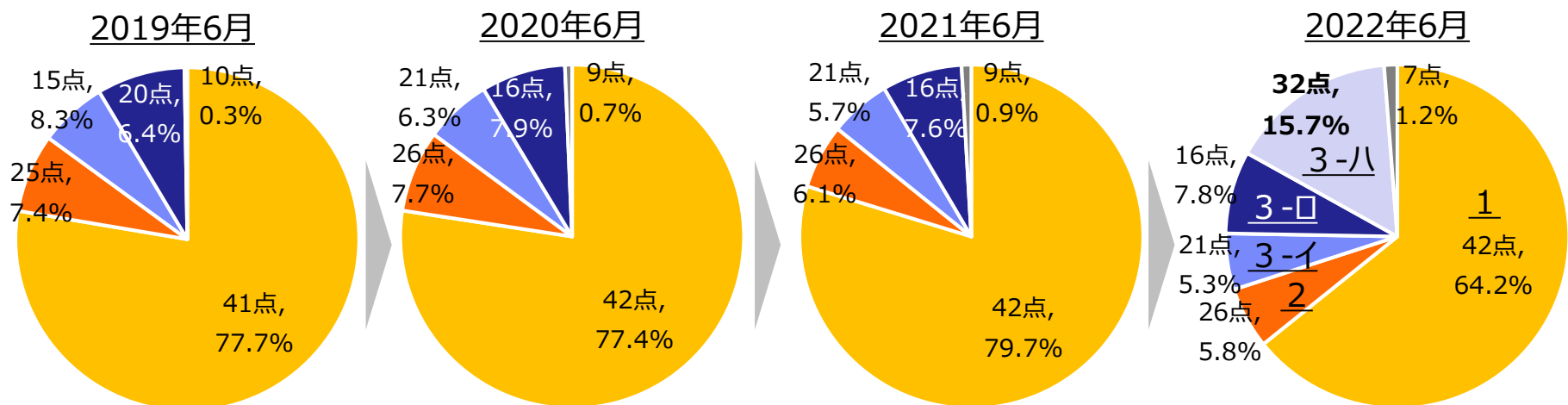
社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出
持参率は、服薬管理指導料（3月以内再度処方箋持参 手帳あり）/同指導料（3月以内再度処方箋持参）より算出

- 
1. 調剤全体の状況
 2. 薬学管理料・加算の算定状況
 - 3. 調剤基本料・加算の算定状況**

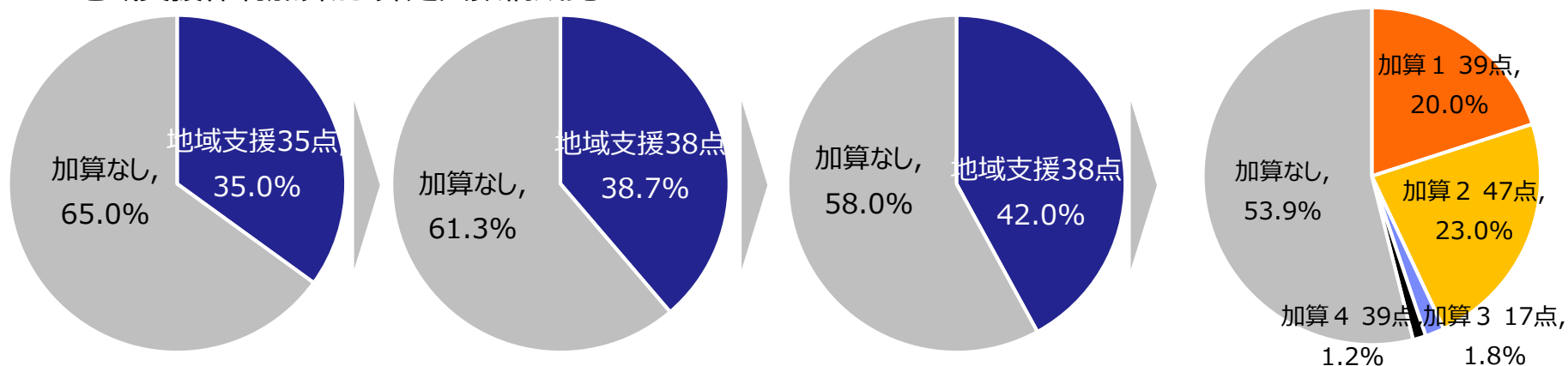
算定回数構成比

2022年度改定にて調剤基本料3-ハが新設によって基本料がさらに細分化されたが、改定後においても基本料 1 (42点)が64.2%を占めており、地域支援体制加算においては基本料 1 以外の算定が厳しい状況。

■ 調剤基本料別 算定回数構成比

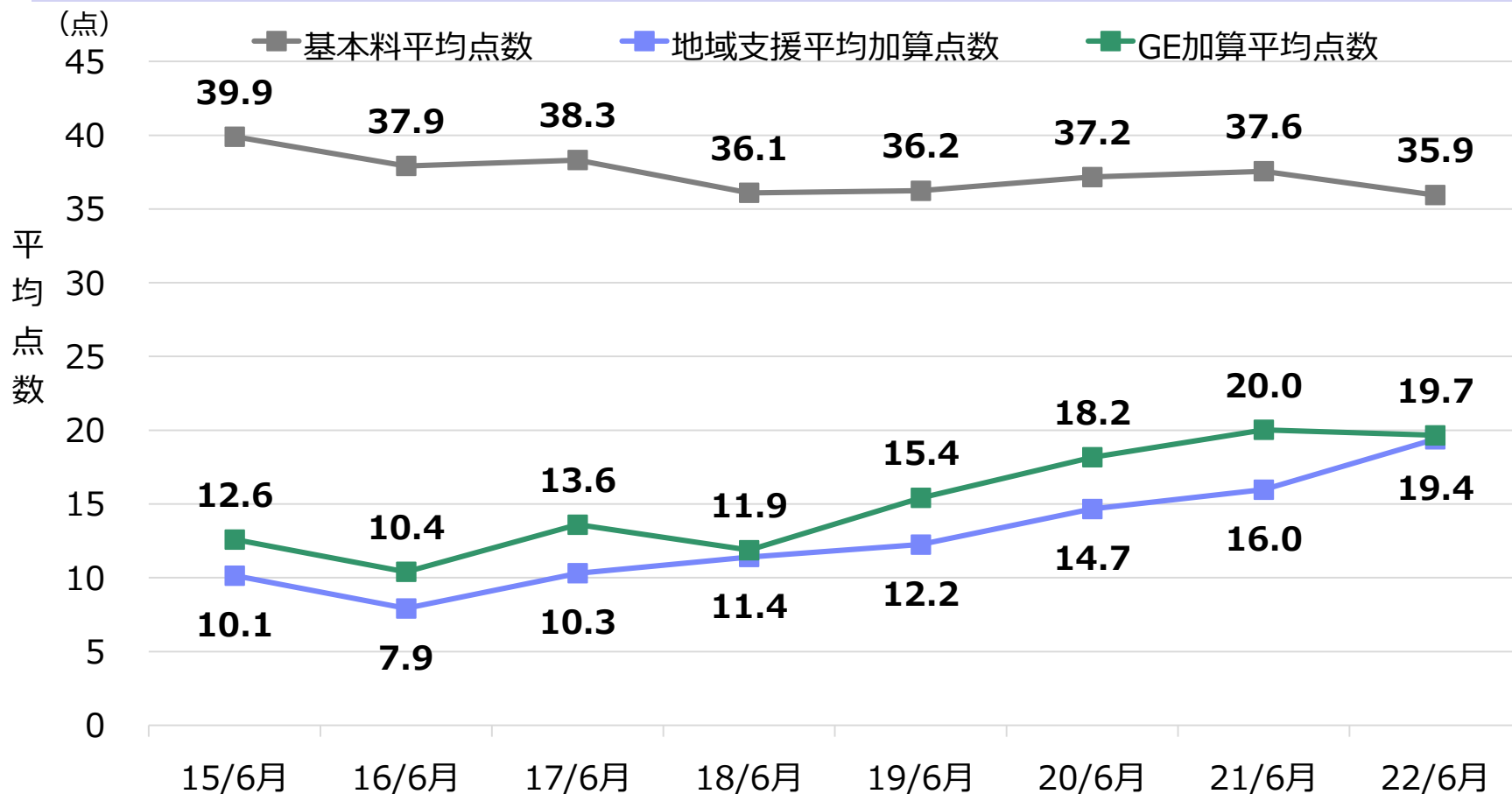


■ 地域支援体制加算別 算定回数構成比



平均点数

2022年度改定における基本料3-八の新設によって、基本料の平均点数は低下した。地域支援体制加算は、区分新設による算定増加により平均点数が伸びているが、22/6月は経過措置*期間中であることに注意が必要。



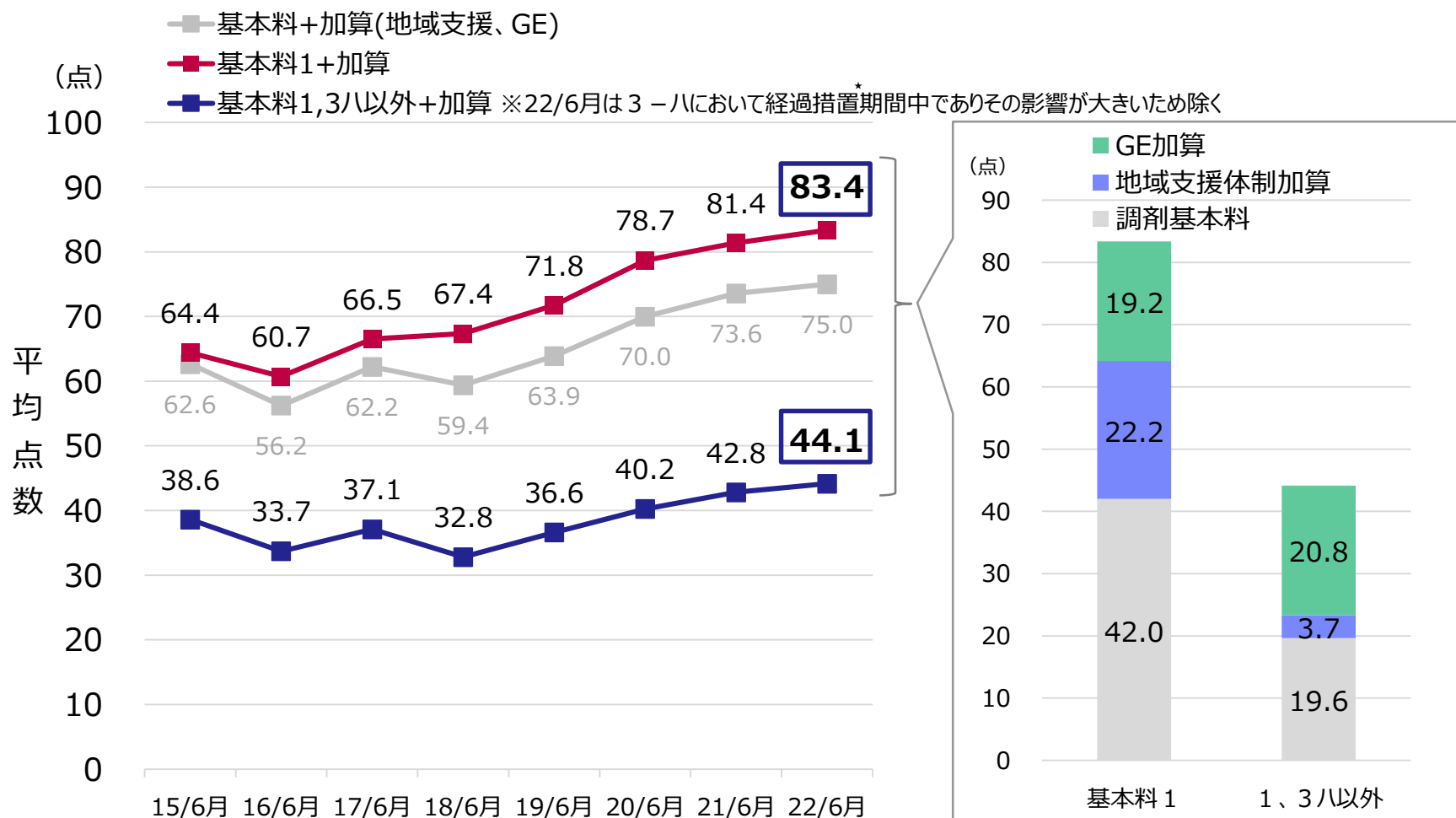
▶ 社会医療診療行為別統計より 各算定点数を調剤基本料算定回数で除して算出 17/6月以前は基準調剤加算

▶ *【経過措置】

- 令和4年度調剤報酬改定に係る経過措置として、令和4年3月31日時点で地域支援体制加算を算定している保険薬局で、**在宅薬剤管理の実績**を満たしていると届出を行っている場合は当該実績を満たしているものとする（令和5年3月31日まで）。
- 令和4年度調剤報酬改定に係る経過措置として、令和4年3月末日時点で調剤基本料1を算定していた保険薬局であって、令和4年4月から調剤基本料3-八を算定することとなったものについては、**調剤基本料1を算定しているものとみなし**、要件を満たせば地域支援体制加算1、2を算定可能（令和5年3月31日まで）

調剤基本料別 平均点数

調剤基本料 1 の薬局とそれ以外とは、受付 1 回につき39.3点の開きがある。基本料の点数差に加えて、基本料 1 以外においては要件ハードルが高く、点数が低い地域支援体制の加算 3、4 が適用されることが要因である。



▶ 社会医療診療行為別統計より 各算定点数を調剤基本料算定回数で除して算出

▶ * 令和4年度調剤報酬改定に係る経過措置として、令和4年3月末日時点で調剤基本料1を算定していた保険薬局であって、令和4年4月から調剤基本料3-8を算定することとなったものについては、調剤基本料1を算定しているものとみなし、要件を満たせば地域支援体制加算1、2を算定可能（令和5年3月31日まで）

参考) 地域支援体制加算の要件

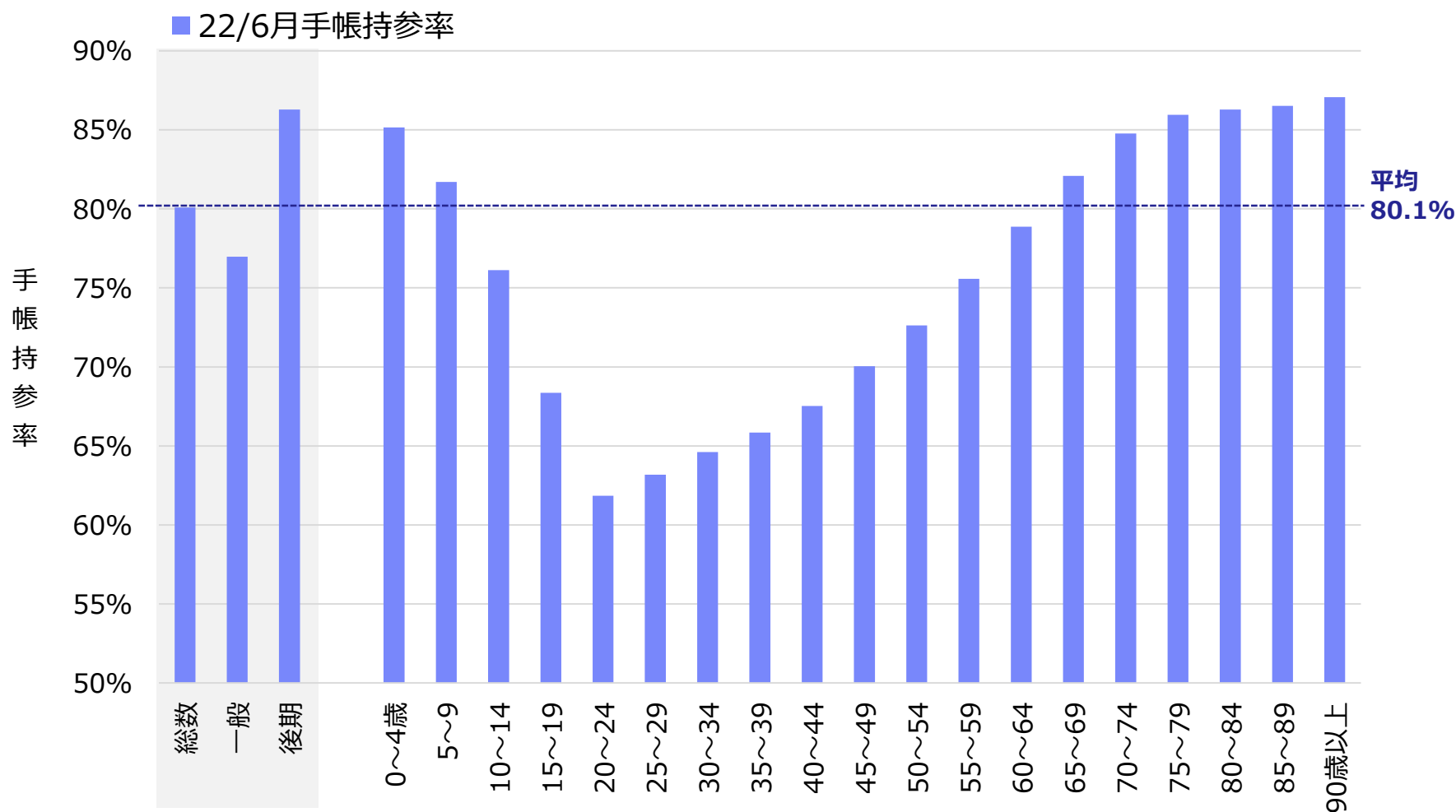
調剤基本料 1 以外においては、要件ハードルが高く、点数が低い加算 3、4 が適用される。

調剤基本料区分		基本料 1 42点		基本料 1 以外 7-32点	
地域支援体制加算区分		加算 1 39点	加算 2 47点	加算 3 17点	加算 4 39点
実績 I		①～③かつ④または⑤を満たす		－	－
1薬局当たりの年間回数	①麻薬小売業者の免許	要		要	実績 II ②
	②在宅薬剤管理	24回以上		実績 II ⑦	実績 II ⑦
	③かかりつけに係る届出	要		実績 II ④	実績 II ④
	④服薬情報等提供料	12回以上		実績 II ⑧	実績 II ⑧
	⑤多職種連携会議	1回以上		実績 II ⑨	実績 II ⑨
実績 II		－	①～⑨のうち 3つ以上を満たす	①～⑨のうち ④及び⑦を含む 3つ以上を満たす	①～⑨のうち 8つ以上を満たす
①～⑧は処方箋受付 1万回当たりの年間回数	①夜間・休日等の対応実績	－	400回以上	400回以上	400回以上
	②麻薬加算	－	10回以上	10回以上	10回以上
	③重複投薬・相互作用等防止加算	－	40回以上	40回以上	40回以上
	④かかりつけ薬剤師指導料等	－	40回以上	【必須】40回以上	40回以上
	⑤外来服薬支援料 1	－	12回以上	12回以上	12回以上
⑨は1薬局 当たりの年間回数	⑥服用薬剤調整支援料 1 及び 2	－	1回以上	1回以上	1回以上
	⑦単一建物診療患者が1人の在宅薬剤管理	－	24回以上	【必須】24回以上	24回以上
	⑧服薬情報等提供料	－	60回以上	60回以上	60回以上
	⑨多職種連携会議	－	5回以上	5回以上	5回以上

Appendix

年齢別手帳持参率

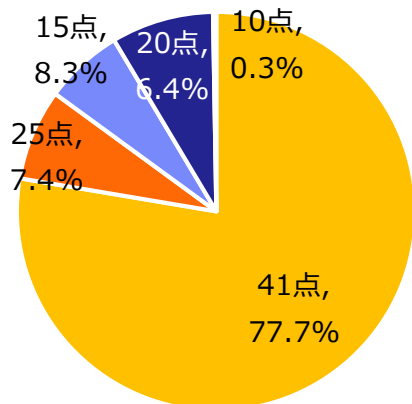
0～9歳の乳幼児・小児、65歳以上の高齢者において、お薬手帳持参率は平均より高い傾向が見られた。



調剤基本料 算定回数構成比

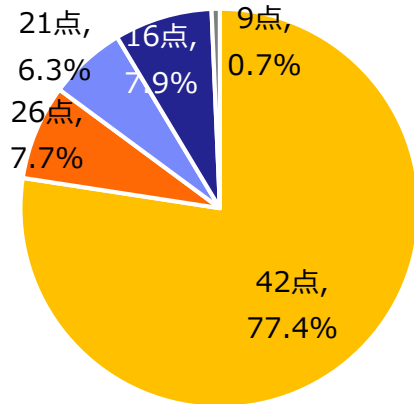
2022年度改定にて調剤基本料3-ハが新設によって基本料がさらに細分化されたが、改定後においても基本料 1 (42点)が64.2%を占めている。

2019年6月



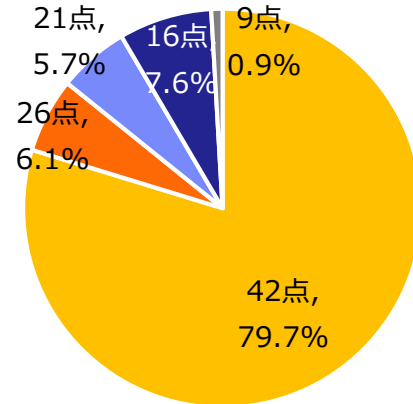
- 41点 (基本料1)
下記以外
- 25点 (基本料2)
4,000回超 集中率70%超 or 2,000回超 集中率85%超 or 特定病院4,000回超
- 20点 (基本料3-イ)
同一グループ4万回/月超 集中率85%超 or 賃貸借契約
- 15点 (基本料3-ロ)
同一グループ40万回/月超 集中率85%超 or 賃貸借契約
- 10点 (特別)
病院と特別な関係 (不動産取引等) 集中率95%超

2020年6月



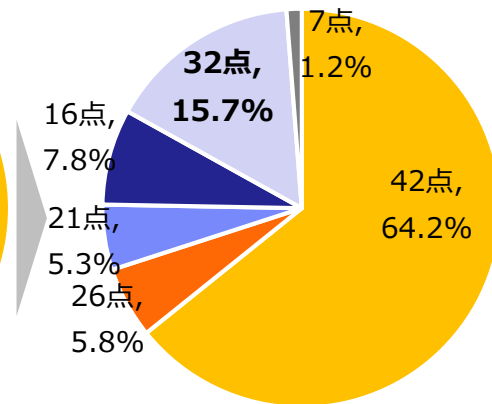
- 42点 (基本料1)
下記以外
- 26点 (基本料2)
同左 or 1,800~2,000回 集中率95%超
- 21点 (基本料3-イ)
同左 or 同一グループ3万5千~4万回/月 集中率95%超
- 16点 (基本料3-ロ)
同左
- 9点 (特別)
医療機関と特別な関係 (不動産取引等) 集中率70%超

2021年6月

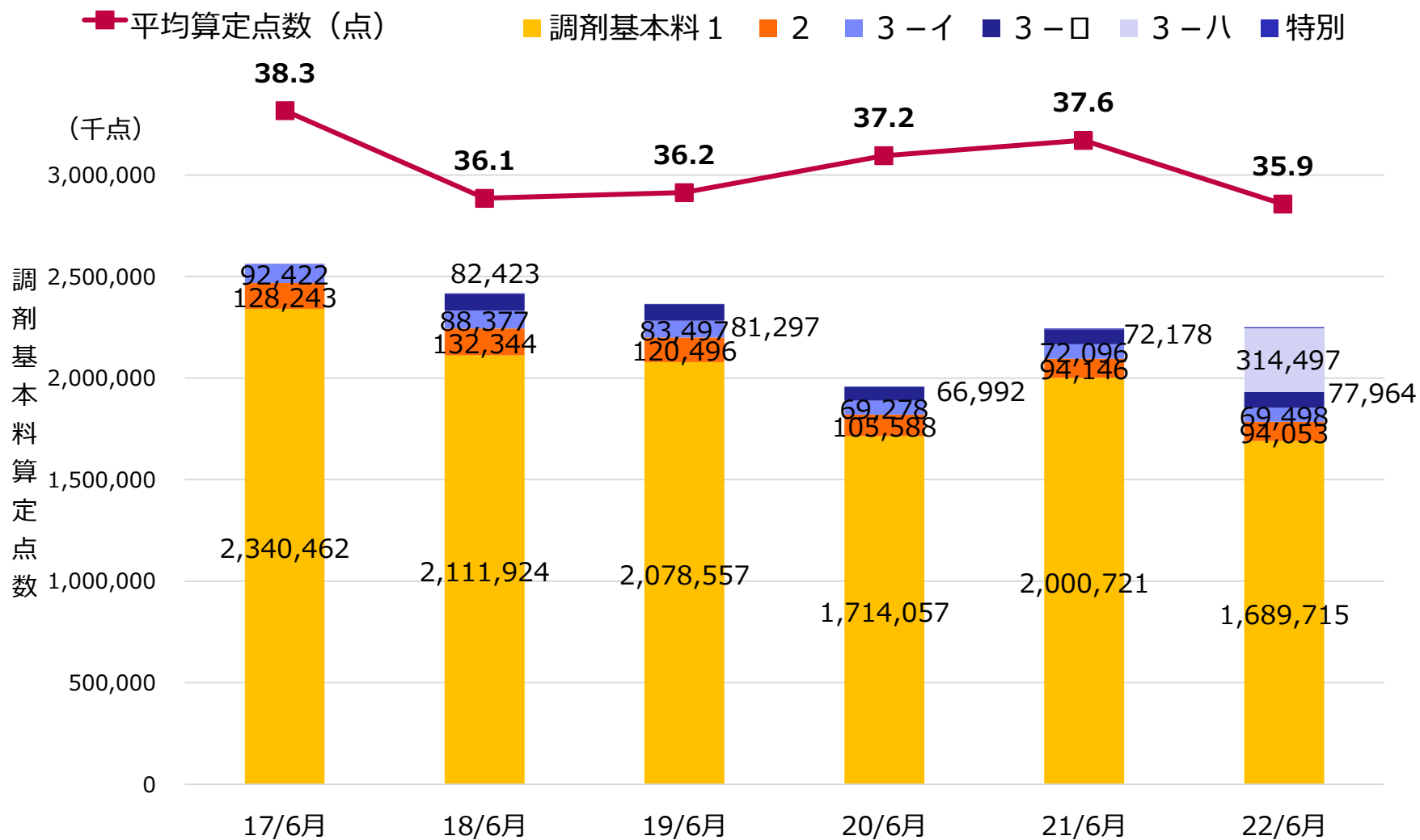


- 42点 (基本料1)
下記以外
- 26点 (基本料2)
同左 or 1,800~2,000回 集中率95%超
- 21点 (基本料3-イ)
同左 or 同一グループ3万5千~4万回/月 集中率95%超 (300薬局未満)
- 16点 (基本料3-ロ)
同左、40万回/月超または300薬局以上
- 32点 (基本料3-ハ)
基本料2、3-ロ、特別調剤基本料以外 同一グループ月40万回超 または300薬局以上であって、集中率85%以下
- 7点 (特別)
同左

2022年6月



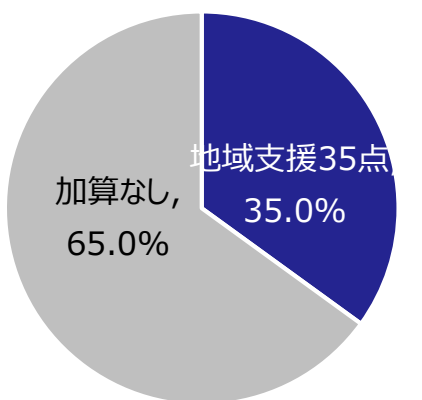
調剤基本料算定点数と平均算定点数



地域支援体制加算 算定回数構成比

2022年度改定にて地域支援体制加算は1～4に細分化。調剤基本料1以外となると、要件ハードルが高く、点数が低い加算3、4が適応される報酬体系となった。

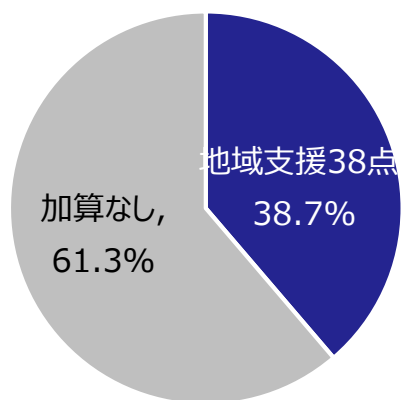
2019年6月



■ 地域支援体制加算 35点
基本料41点の場合
在庫1,200品目 24h輪番 麻薬免許 在宅1件 かかりつけ薬剤師届出 管理薬剤師（薬局経験5年・在籍1年・週32h）プレアボイド報告実績等

基本料41点以外の場合
上記に加え、
地域医療に貢献する体制を有することを示す相当の実績（8項目 1人当たり相当数実績）のクリア

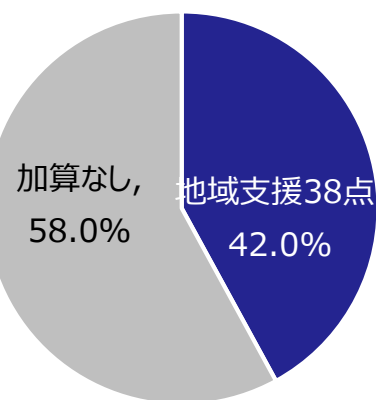
2020年6月



■ 地域支援体制加算 38点
基本料41点の場合
同左+在宅12件以上/年、服薬情報等提供料の実績12回以上/年、地域の多職種と連携する会議出席1回以上/年
※実績要件は2021年4月より適用

基本料41点以外の場合
上記に加え、
地域医療に貢献する体制を有することを示す相当の実績（8項目 1人当たり相当数実績+地域の多職種と連携する会議出席5回以上/年）のうち8つ以上クリア

2021年6月



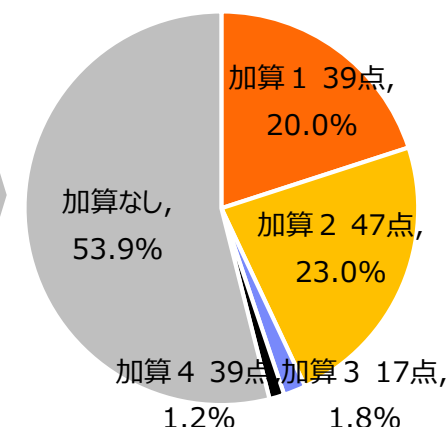
■ 地域支援体制加算 1 39点
基本料42点を算定
在宅24件以上/年 他同左

■ 地域支援体制加算 2 47点
上記に加え、
地域医療に貢献する体制を有することを示す相当の実績（8項目 1人当たり相当数実績+地域の多職種と連携する会議出席5回以上/年）のうち3つ以上クリア

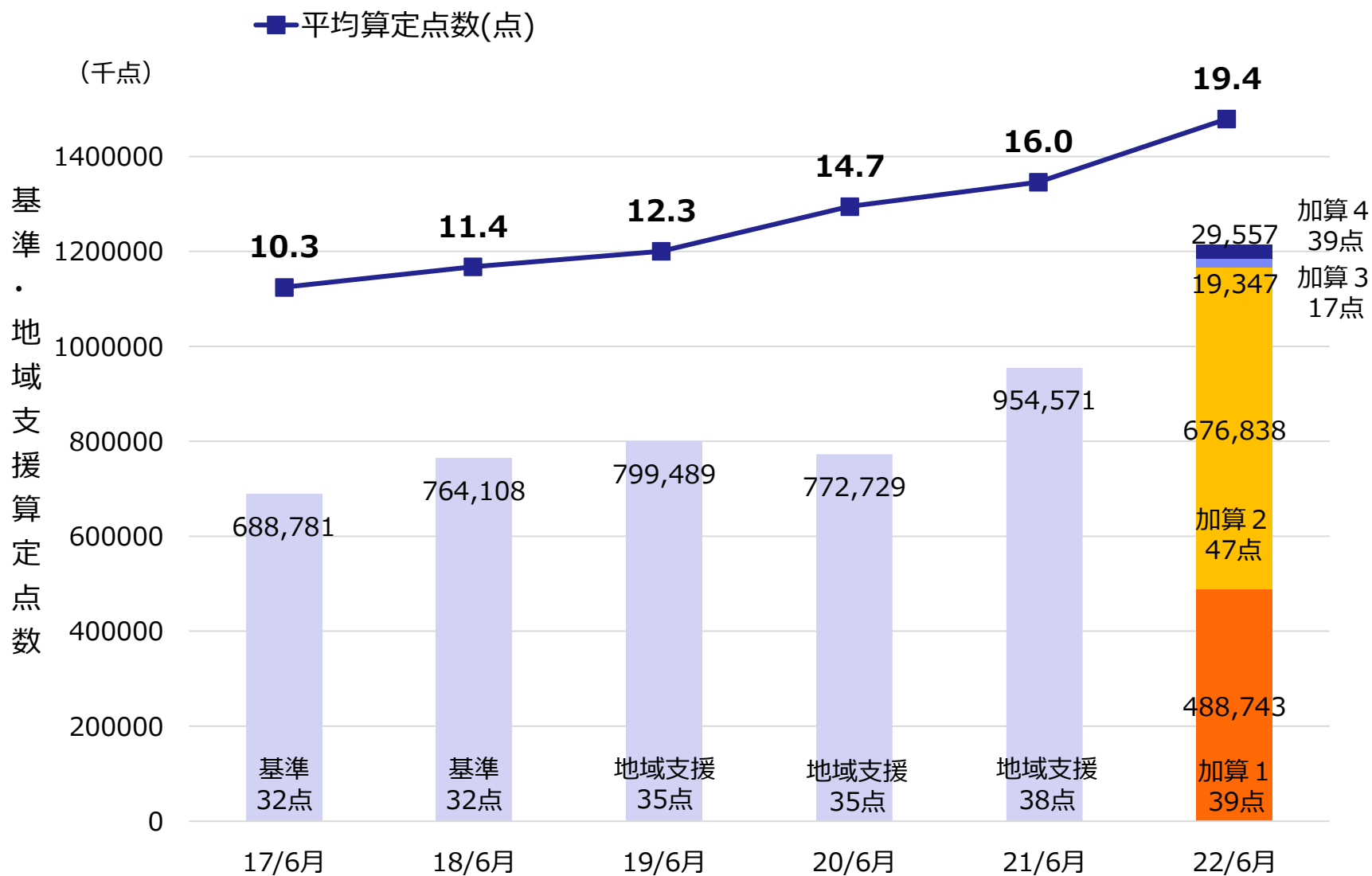
■ 地域支援体制加算 3 17点
基本料42点以外、上記3つ以上クリア

■ 地域支援体制加算 4 39点
基本料42点以外、上記8つ以上クリア

2022年6月



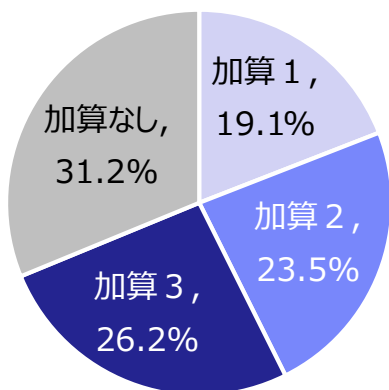
地域支援体制加算 算定点数と平均点数



GE加算 算定回数構成比

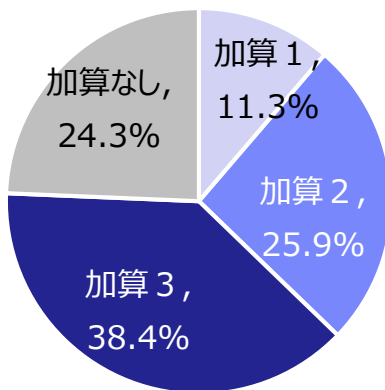
2022年度改定によって加算要件が引き上げられたことにより、加算割合が減少した。

2019年6月



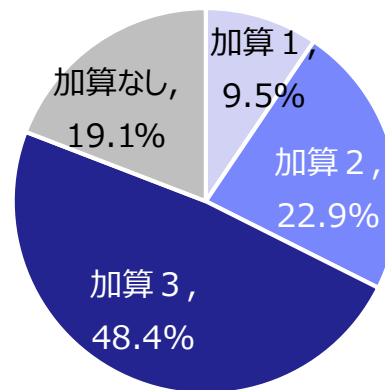
- 加算1 18点
GE数量ベース 75%以上
- 加算2 22点
GE数量ベース 80%以上
- 加算3 26点
GE数量ベース 85%以上

2020年6月



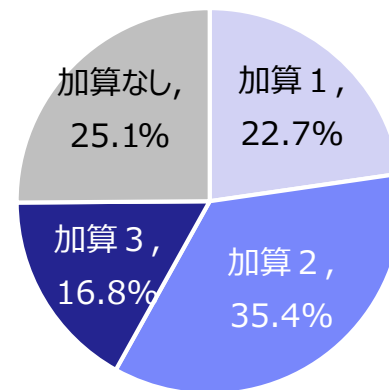
- 加算1 15点
GE数量ベース 75%以上
- 加算2 22点
GE数量ベース 80%以上
- 加算3 28点
GE数量ベース 85%以上

2021年6月



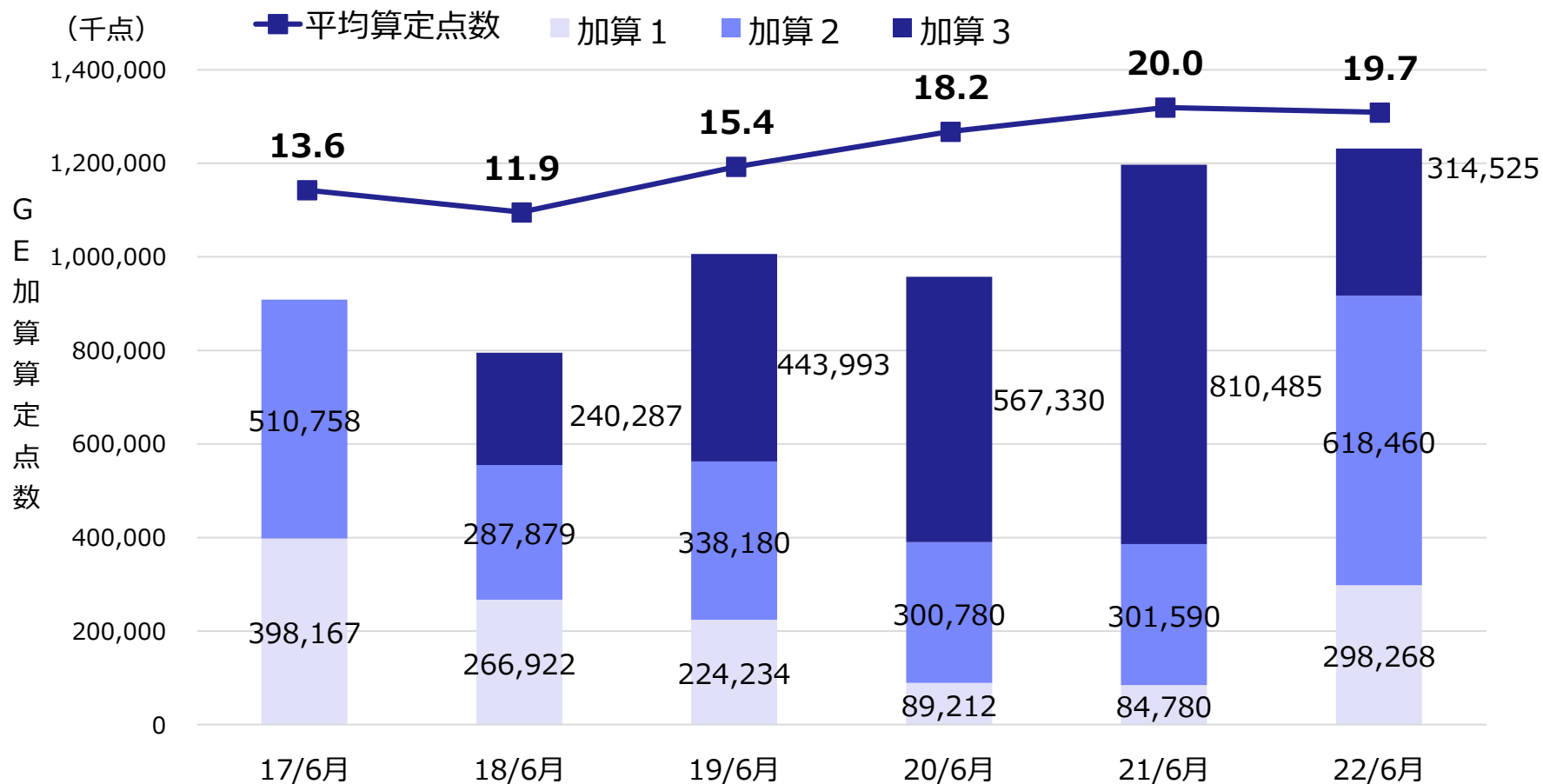
- 加算1 15点
GE数量ベース 75%以上
- 加算2 22点
GE数量ベース 80%以上
- 加算3 28点
GE数量ベース 85%以上

2022年6月



- 加算1 **21点**
GE数量ベース **80%以上**
- 加算2 **28点**
GE数量ベース **85%以上**
- 加算3 **30点**
GE数量ベース **90%以上**

GE加算 算定点数と平均点数





Nippon Pharmacy Association

日本保険薬局協会